

【1】実践事例

【2】タイトル：さまざまなことば集め

【3】概要

ねらいは同じだが、異なった題材で実施したものを一つにまとめて報告する。

1, 宮澤賢治の童話から擬声語・擬態語を集める

- * 童話作品を1グループで一つ担当
- * 作品中に使われている擬声語・擬態語を抜き出し、用例とともにExcelに入力
- * グループごとのファイルの一つにまとめ、全体をソートして資料を作る
- * 作った資料を見て、賢治の童話に使われている擬声語・擬態語の特徴を考え、レポートする

2, 流行歌の歌詞から

- * ヒットチャートの上位に入っている歌謡曲の歌詞を用意する
- * 一人ずついくつかの曲を担当し、その歌詞を単語に分けてリストアップし、曲ごとに一つのExcelのファイルに
- * 曲ごとにデータをソートして、歌詞に使われていることばの傾向や特徴などをレポートする
- * 全曲のファイルをまとめ、全体でソートして資料を作る
- * データをソート・サーチするなどして、ヒットチャート全体の特徴を見つけレポートする

3, 若者言葉

- * 若者が使う(他の世代はあまり使わない)ことばの傾向や特徴を考える(参考資料を用意)
- * それぞれ、思いつくだけの若者言葉をリストアップし、その意味と用例と合わせて表にする
- * 他のクラスの授業(講義ではなく演習形式の授業や自習などで、生徒の会話が聞ける授業)に参加させてもらって、生徒の会話のなかから若者言葉を拾い出す
- * 以上を表にしたものをWebページにし、インターネット上でも収集を呼びかける
- * 集まったことばを総括して、全体の傾向や特徴などをまとめる

【4】キーワード：ことば集め フィールドワーク 表計算ソフト、ソート 検索 Web ページ

【5】学校区分：高等学校 定時制 普通科

【6】学年：4 学年(その他)

【7】教科：国語

【8】学校名(URL)：千葉県立野田高等学校 (<http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/>)

【9】授業者名：清水俊一

【10】授業実施期間(月日, 時間)：

【11】単元・題材名：ことばを集める(『現代語』三省堂)他

【12】単元の目標

- * フィールドワークとしてことば集めをすることで、普段使われていることばに関する感覚を磨く
- * 集めたことばを分析して、その特徴や傾向などを発見する
- * ことばについての自分なりの意見をまとめる

【13】メディア活用の意義

「現代語」では学習活動の多くをフィールドワークが占めている。

フィールドワークの後、集めたデータをもとにしてそれを分析し自分なりの考えをまとめさせる学習活動をさせたい。

データはたくさん集めればそれだけ意味を引き出せる余地が大きくなるが、それだけ分析が難しくなる。表計算ソフトを使えば簡単な操作で並べ替えや検索ができるので、特徴を抽出しやすい。

本校では4年の選択として現代語(2単位)を開講している。履修する生徒数は少ない。どうしても集まるデータ数が限られてしまう。2単位の授業では時間中にデータを集めるにも限界がある。また、定時制の生徒なので家庭学習として調査課題を持ち帰らせるといっても効果は上がらない。他の学年やクラスの生徒を対象に調査したとしても、全校生徒数が100人弱なので、これも満足なデータには

なりそうもない。

そこで考えたのが、インターネットを使って、学校外の人たちに積極的に協力を求めよう、ということだった。データを校内だけで集めるよりは、インターネットを使うことで、様々な観点を持つ人の見方からデータを加えることができるので、生徒の見方・考え方を広げることができる。

【14】メディア環境

a)使用機種：Mac LC520

b)稼働環境

1. DA128 の専用線でインターネット接続
2. 校内に UNIX サーバ(Web,mail,DNS,proxy etc.)
3. 校内 LAN

c)利用ソフト

1. Netscape Navigator

【15】単元の指導計画：省略

【16】授業展開：(【17】参照)

【17】学習活動の実際

1. 宮澤賢治童話から擬声語・擬態語を集める

宮澤賢治の作品を読んで、特徴的な擬声語・擬態語に気づかせる(ことば集めの動機付け)。

童話作品を1グループで一つ担当し、読み進めながら作品中に使われている擬声語・擬態語を抜き出させた。

最初はカードを使って、一枚に一つずつ書かせた。用例と作品名も同じカードに書くように指示。担当する作品を最後まで抜き出したら、コンピュータ室に行き、Excel への入力作業。グループでそれぞれ分担して入力させ、あとで作品ごとに一つのファイルにまとめさせた。セルには左から「語句」「用例」「作品名」となるように入力する。

作品ごとのファイルができあがったら、それらをコピーして全部を一つのファイルにまとめる(これは授業者がおこなった)。

このファイルをサーバから手元のコンピュータにコピーし、全体をソートしたり検索したり抽出したりしてデータを分析し、賢治の童話に使われている擬声語・擬態語の特徴を考え、レポートする。

宮沢賢治の擬声語・擬態語 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴

アドレス(D) <http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/class/kenji1.htm> 移動

宮沢賢治の擬声語・擬態語

あ〜こ

言葉	区別	対象	文例	出典
アッハッハ	声	笑う	アッハッハ。虎は今日は何か辛いものを食べ過ぎたな。	けだもの運動会
あっはは、あっはは	声	笑い	画かきはあっはは、あっははとびっこのような笑い方をしました。	かしわばやしの夜
うきうき	態	輝く	夕方は、お日さまの光りが木や草のみどりを銚色にうきうきさせるまで	カイロ団長
ウヘン	声	せきこんだ	ウヘン ああ風でのどがぜいぜいする	シグナルとシグナレ

ページが表示されました インターネット

2. 流行歌の歌詞から

歌謡曲の歌詞を掲載した月刊誌を教材にする。

その歌詞を単語に分けてリストアップし、曲ごとに一つの Excel のファイルに入力していく。セルの左から「語句」「用例」「タイトル」となるように。

活用語は歌詞のまま抜き出す。付属語は単独では抜き出さない。外国語もそのままの形で抜き出す。何度も使われる語もそのまま複数回抜き出すがリフレインの部分は抜き出さない。

曲ごとにすべてのデータを抜き出したら、それををソートして、その曲の歌詞に使われていることばの傾向や特徴、曲の雰囲気との関連などをレポートさせた。

その後、全曲のファイルをまとめ、資料を作る。

データをソート・サーチするなどして、ヒットチャート全体の特徴を見つけレポートする。

3. 若者言葉

『若者語を科学する』(明治書院 米川明彦)、『若者ことば辞典』(東京堂出版 米川明彦)、『現代若者ことば考』 丸善 米川明彦)から抜き出した資料を読ませ、若者が使う(他の世代はあまり使わない)ことばの傾向や特徴を考える。

若者言葉 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴

アドレス(D) <http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/class/gendaigo/wakakoto.html> 移動

気になる今時の若者言葉

語句	使い方	意味	特徴など
いっばい いっばい	私にはいっばいっばいな んだから…	めいっばい、 せいっばい	
(頭が)ぼ んばっ ちゃう	サーフィンやるときタオル を頭にまいてないとぼん ばっちゃう	髪の毛がぼり ぼりになるこ と? 赤くなる こと?	
ファッキ ン		ファーストキッ チンのこと	英語圏で使うと大変な ことになっちゃうぞ!
ブルーは いる	私今ちょーブルーはいっ てるんだよね	ゆううつにな る。おちこむ。	そろそろ古めかも
まったり (-する:	「部活の後、一緒にご飯 食べるときって、なんか、 まったりしてるよね」「あの	生ぬるい空気 が支配する。	

ページが表示されました インターネット

その後話し合いをもち、若者特有の話し言葉を思いつくだけリストアップさせた。他のクラスの授業で作業中心に展開しているところを見学させてもらい、その間に生徒が交わしている会話の中から聞き取りを行った。また、課題としてデータを集めてくることを宿題とした。

ここまでの時点で、生徒のデータ収集はほとんど完結してしまった感があった。定時制なので生徒の年齢にも幅があるが、身近なところでの言葉づかいなので、それと気づきにくいという点もありそうに思われた。

集めたデータを「語句」「使い方」「意味」「特徴など」の項目にわけてリストアップし、Web ページとして公開、同時に、このページを閲覧してくれた人に向けて、データの提供を呼びかけた。

(<http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/class/gendaigo/index.html>)

いくつかの教育関連メーリングリストにこのページを公開したことを紹介し、協力を求めた。

集まったデータをもとに自分なりに分析させ、その特徴などをまとめさせてレポートとした。

【18】授業の成果(生徒の反応、メディア活用の効果等)

1, 宮澤賢治の童話から擬声語・擬態語を集める

「国語 I」の小説教材で『オツベルと象』を、「国語 II」で『永訣の朝』を学習済みであり、賢治の作品についてはなじみがある。その作品に使われる用語を集める作業をしながら、他の作品も自然と読むことになる。

2, 流行歌の歌詞から

普段生徒たちはよく歌謡曲を聞いているが、メロディをまず耳にして歌詞まではよく考えていない

ようである。身近な曲を題材にすることで、歌謡曲とはいえことばをおろそかにしていないことに気付いていくようだ。

若者に受けている最新の曲でも意外に古い言い回しをしている歌詞があったり、耳に聞こえただけでは分からない文字表記にも注意していることをレポートに取り上げる生徒がいた。

Excel でデータ集計することで、一曲の中で頻繁に使われることばに容易に気付くことができる。また全体のデータを合わせて一つのファイルとすることで、その時期の流行歌の中で社会的な雰囲気表現する特徴的なことばを見つけられる。恋愛を歌った曲が多いのでそれに関する言葉が多く使われていたが、同じ恋愛をテーマとした歌でも、歌詞につかわれることばの違いでさまざまな歌の世界が表現されることを発見した生徒もいた。

このデータはイントラサーバ上に保存しておく。数年後、同様の授業展開をした時に発見される歌の特徴とどう変化しているか、比較できればおもしろいからである。

3. 若者言葉

残念ながら、外部からのデータ提供は期待したほどには集まらなかったと言っていい。しかし、客観的な視点を設定できたことで生徒の見方も広がったし、寄せられたデータを見て「そういえば…」と新たにその種の言葉を思いつく生徒もいた。

提出されたレポートには、所属するグループ内でだけ通用する言葉を使うことで連帯感を持つという考えとか、若者言葉の造語のパターンを分析したものなどがあり、当初のねらいは達成できたものと考えている。

【19】ワンポイントアドバイス(今後の課題等)

- * データの入力については、慣れないうちはカードなどへの抜き書き作業をまずさせておき、それがあらかた終了してからコンピュータへの入力作業に移る方がいい。「読みながら書き抜く」作業と「コンピュータの操作」作業を切り分けた方が指導しやすいからである。
- * データの集計にはExcel を使ったが、データ量によっては大きくなりすぎて非力なマシンでは扱えなくなることがある。その場合は、五十音の行ごとにファイルを分けるなどの工夫がいる。
- * 表計算ソフトを使ったソート・サーチ・抽出の作業方法は、改めて時間を設けてまとめて指導しておく。
- * 表計算ソフトでなくても、データをテキスト形式にしておいてgrepなどの検索ツールをつかわせてもいいかもしれない。
- * 「3, 若者言葉」ではWeb ページを使って学校外の不特定の人にデータ提供を求めたが、期待したようには集まらなかった。授業の進度もあり実施時間も限られているので、それに合わせて事前に外部の協力者を確保しておくか、他校と連携して進めるのがいいだろう。
- * 逆に、授業が終了したあと、今でも時々データを寄せてくれる人がいる。そのメンテナンスに時間をかけなければならないことがある。
- * けれども、積極的に自分たちの集めたデータを外部に公開してさらにデータを集めようという試みは生徒は乗り気だったし、さらに交流を主とした授業に発展させられる可能性も秘めている。
- * 「2, 流行歌の歌詞から」「3, 若者言葉」のデータはWeb に保存しておくことで、その時代の資料として後からも利用できる。数年後に同じ学習活動をして、どう変わっているかを確認するようなテーマを設定できるだろう。
- * 「2, 流行歌の歌詞から」の分析はことばの頻出度を中心としたデータのみを抽出するので、それが歌全体と関る部分しか見られないことに注意しておくべきである。決してそれだけで安易な結論を出そうとするものではない。実際の歌詞はことばのつながりで意味をもってくるものだし、メロディや歌声・演奏なども大きくその雰囲気に影響してくるものだからである。あくまでもことばの使い方が全体へ大きく影響していることを知ることで、ことばそのものに対する意識を深めたい。

【20】参考資料・参考URL など(協力者, 協力団体含む)

- * 『校本宮澤賢治全集』筑摩書房
- * 『月刊歌謡曲』ブティック社
- * 『若者語を科学する』明治書院 米川明彦
- * 『若者ことば辞典』東京堂出版 米川明彦
- * 『現代若者ことば考』丸善 米川明彦